
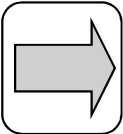


香川県内経済情勢報告



令和 5 年 4 月
財務省 四国 財務局

香川県内経済情勢報告

	令和5年1月判断	10月判断との比較	令和5年4月判断	総括判断の要点	1月判断との比較
総括判断	緩やかに持ち直している	 (2期ぶり 上方修正)	緩やかに持ち直している	<p>個人消費は、百貨店・スーパーが底堅い状況のなか、ドラッグストアが堅調となっているほか、観光が緩やかに回復しつつあることなどから、全体としては緩やかに持ち直している。</p> <p>生産活動は、汎用・生産用機械で持ち直しのテンポが緩やかになっているほか、化学が足踏みの状況にあり、電気機械が弱含んでいることなどから、全体としては弱含んでいる。</p> <p>雇用情勢は、緩やかに持ち直している。</p>	 (据え置き)

〔先行き〕

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

項目	令和5年1月判断	10月判断との比較	令和5年4月判断	1月判断との比較
個人消費	緩やかに持ち直している		緩やかに持ち直している	
生産活動	横ばいの状況にある		弱含んでいる	
雇用情勢	緩やかに持ち直している		緩やかに持ち直している	
公共事業	前年度を下回っている		前年度並みとなっている	
住宅建設	前年を下回っている		前年を上回っている	
設備投資	4年度は前年度を上回る見込み		4年度は前年度を上回る見込み	

※ 5年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費

緩やかに持ち直している

(据え置き)

○百貨店・スーパーは、衣料品等に持ち直しの動きがみられるほか、飲食料品が底堅いことから、全体としては底堅いものとなっている。

○コンビニエンスストアは、酒類を含む飲料品や米飯類等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

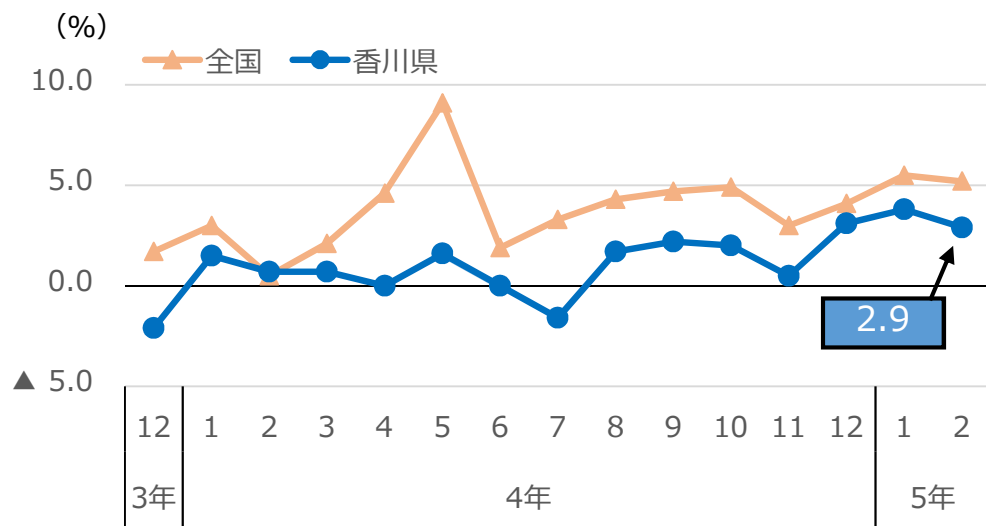
「百貨店・スーパー」

- 外出機運の高まりによって、衣料品やキャリーバッグ、化粧品等に動きがみられる。
- 節約志向の高まりを背景に、牛肉よりも、比較的割安感のある鶏肉を選ぶ消費者が増えている。
- 冷凍食品の売上が伸びている。特に、昼食代を節約するため自宅で弁当を作る方が増えていることから、弁当に使いやすい商品が人気となっている。

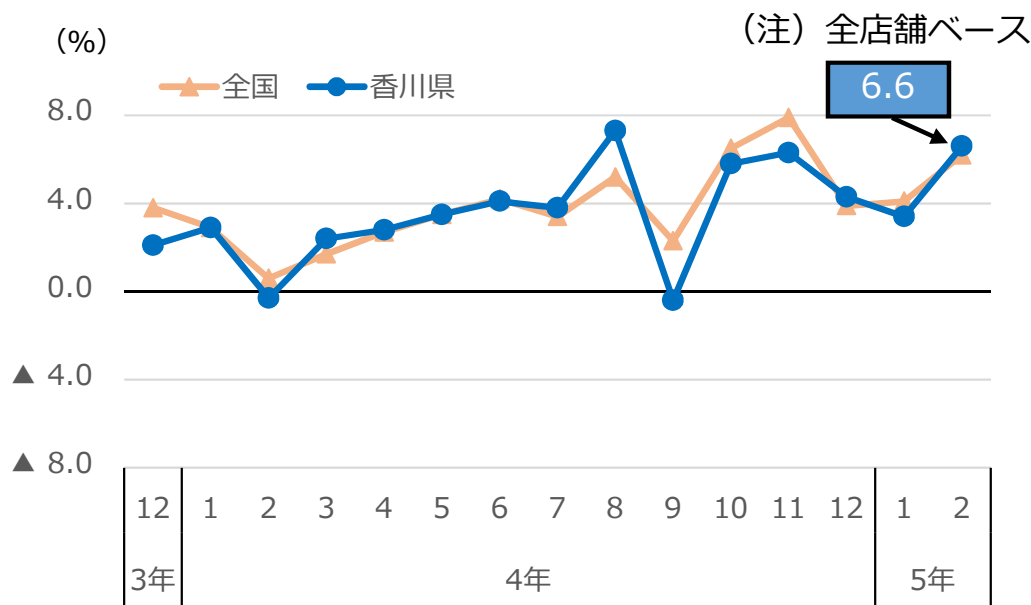
「コンビニエンスストア」

- 行楽需要や観光客の増加などを背景に来店客数が増え、おにぎりやパン類、ペットボトル飲料などの売上が伸びている。
- 県内で宿泊する観光客が増えており、おつまみやアルコール飲料の売上が伸びている。

〔百貨店・スーパー販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕



【出所】経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- ドラッグストアは、医薬品や化粧品に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- 家電大型専門店は、省エネ性能の高い冷蔵庫や洗濯機等に動きがみられるものの、テレビやレコーダー等の動きが鈍いことから、全体としては弱含んでいる。
- ホームセンターは、園芸用品やペット用品等に動きがみられるものの、日用品等の動きが鈍いことから、全体としては弱含んでいる。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、小型車は前年を下回っているものの、普通車及び軽乗用車は前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。
- 観光は、団体客や外国人旅行客の増加がみられ、緩やかに回復しつつある。
- 国内旅行は、全国旅行支援の効果などにより持ち直しており、海外旅行は、水際対策の緩和により持ち直しの兆しがみられる。

〔主なヒアリング結果〕

《ドラッグストア》

- コロナ禍の落ち着きによって抗原検査キット等の売上が落ちた一方、花粉症対策商品が伸びているほか、化粧品にも動きがみられる。

《観光》

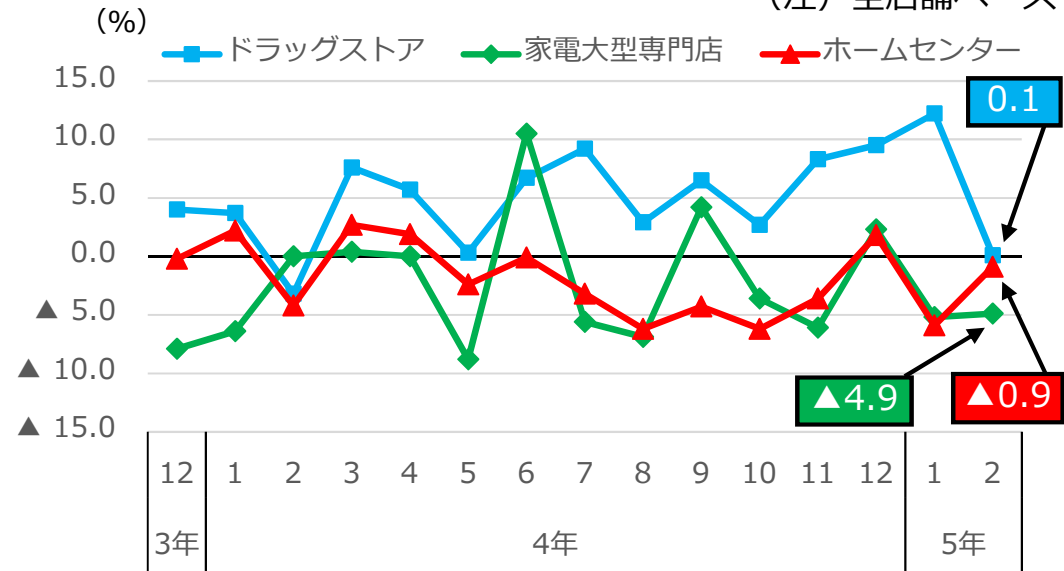
- 大都市圏からの団体客が多くなっているほか、国際線の再開により外国人旅行客も増加している。
- 宿泊者数は、全国旅行支援の効果もあってコロナ前の水準に近づいている。

《旅行》

- 割引率の低下後も全国旅行支援が旅行需要喚起の要因となっているほか、ウィズコロナの浸透もあって旅行者数は順調に回復している。

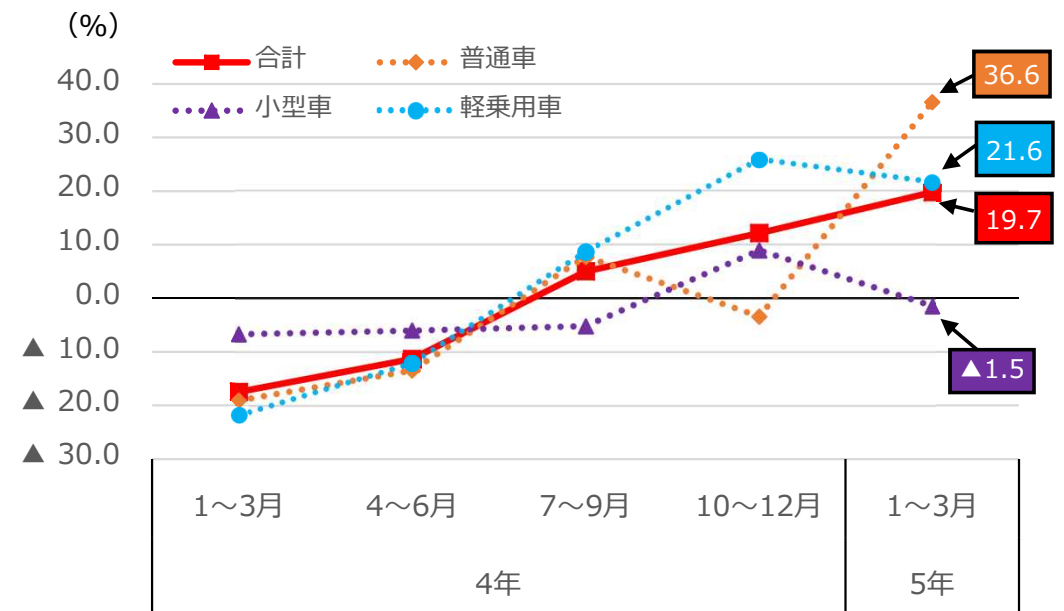
〔香川県の専門量販店販売額（前年同月比）〕

（注）全店舗ベース



〔出所〕四国経済産業局

〔香川県の乗用車新車登録・届出台数（前年同期比）〕



〔出所〕四国運輸局の公表データから算出

生産活動

生産活動 弱含んでいる

(2期連続下方修正)

○汎用・生産用機械は、設備投資関連の需要は堅調であるものの、一部に弱さがみられ、持ち直しのテンポが緩やかになっている。化学は、一部に受注の減少がみられることから、足踏みの状況にある。電気機械は、電子部品に弱さがみられることから、弱含んでいる。こうしたことから、全体としては弱含んでいる。

〔主なヒアリング結果〕

《汎用・生産用機械》

○海外向けの自動車関連需要について、在庫を積み増す動きが落ち着き、生産量は減少している。

《化学》

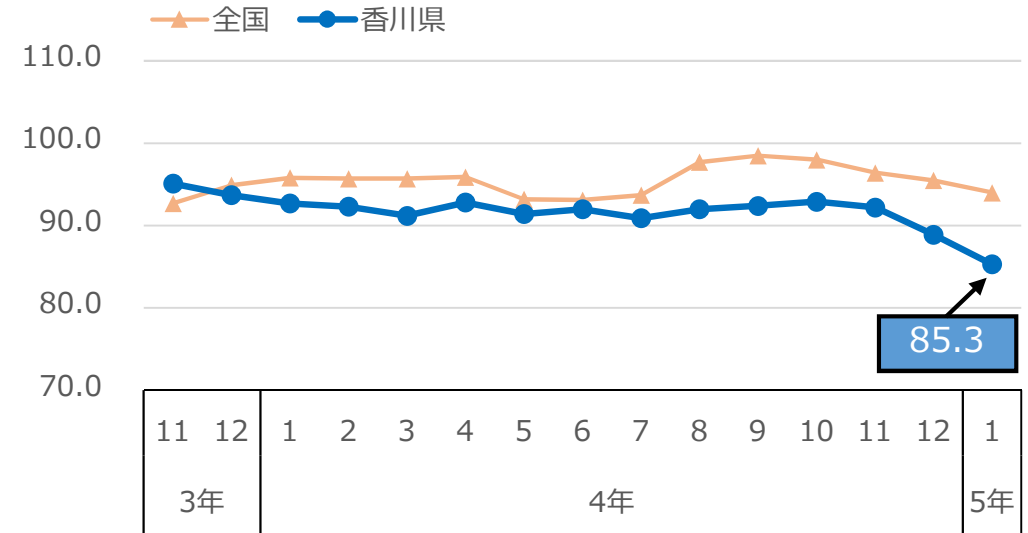
○医薬品は、国内需要、海外需要ともに安定しており、高操業となっている。

○自動車の生産調整を行っていた影響がみられており、生産量は減少している。

《電気機械》

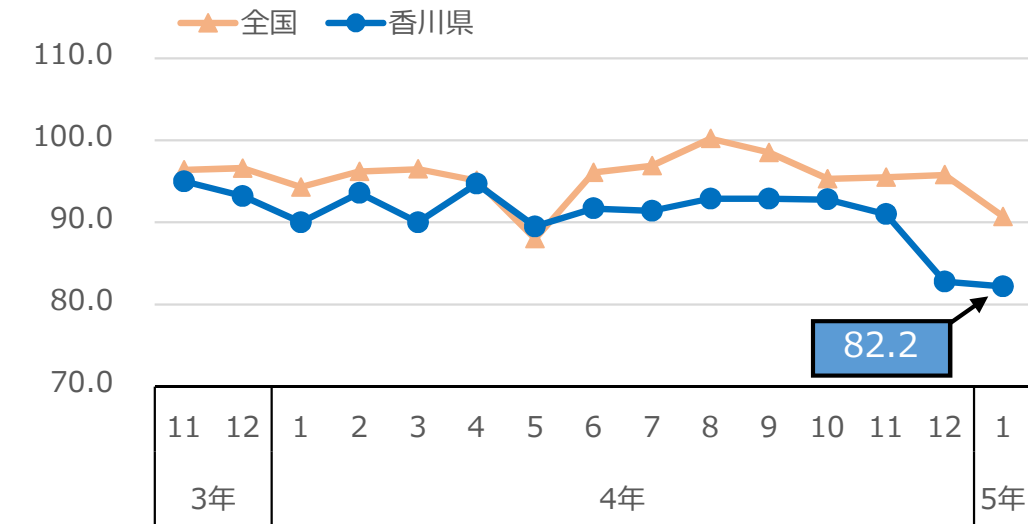
○中国向けのスマートフォン電子部品について、引き続き在庫調整が行われていることから、生産量が減少している。

〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、3か月移動平均）〕



(平成27年=100) 【出所】経済産業省、香川県の公表データから算出

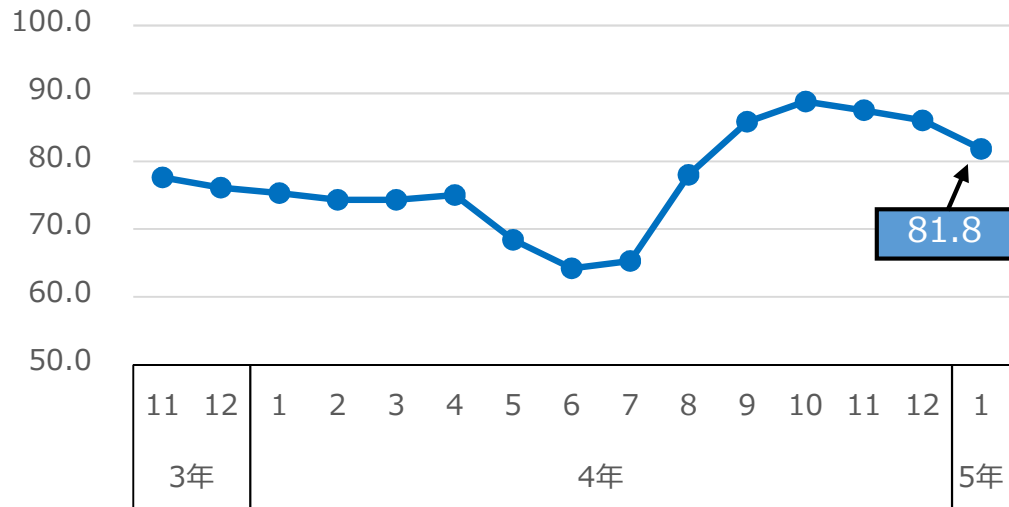
〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、単月）〕



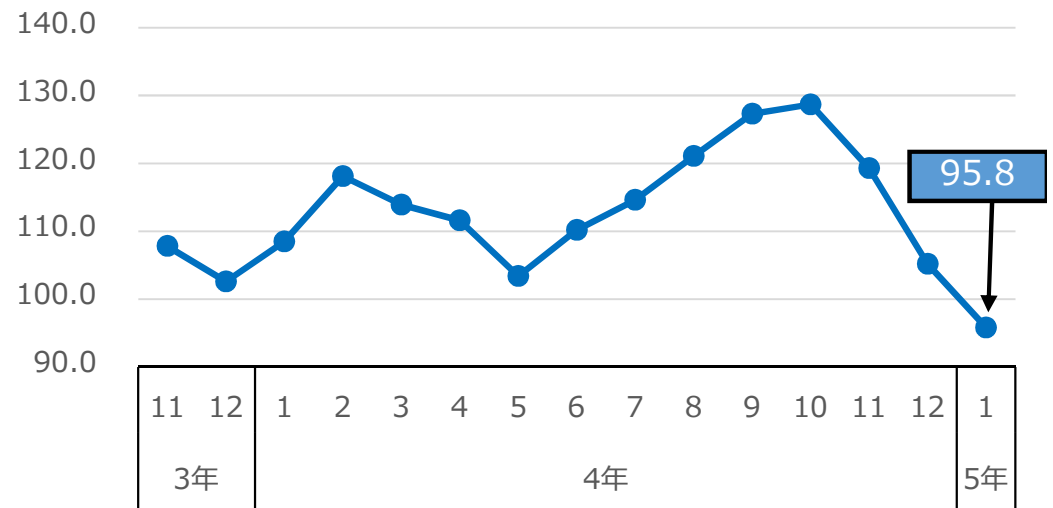
(平成27年=100) 【出所】経済産業省、香川県

生産活動

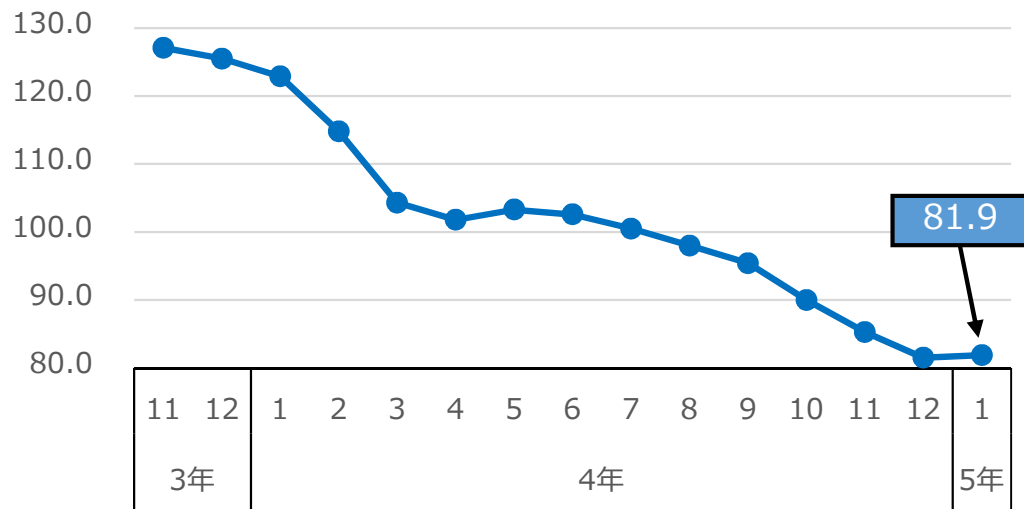
〔汎用・生産用機械〕



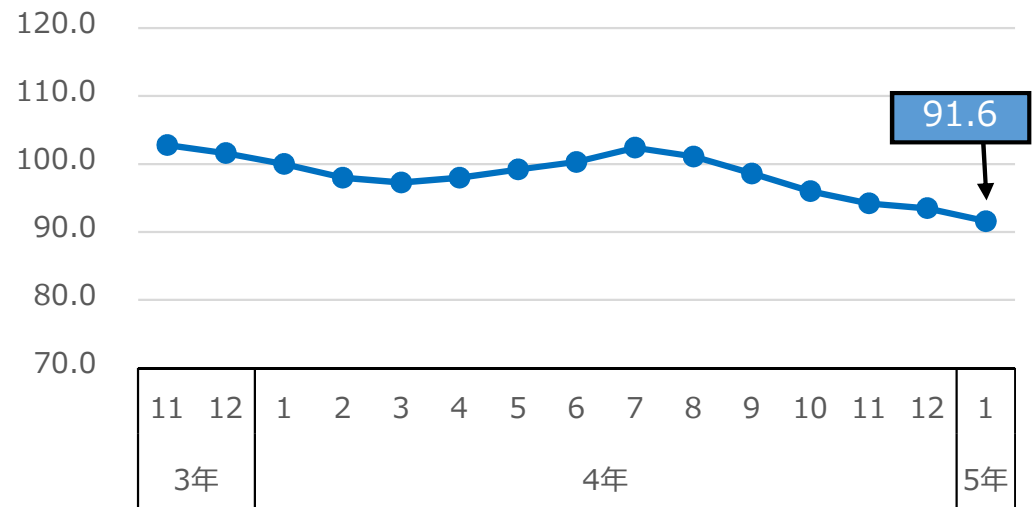
〔化学・石油石炭〕



〔電気機械〕



〔プラスチック〕



(季節調整済指数、3か月移動平均、平成27年=100) 【出所】香川県の公表データから算出

雇用情勢

雇用情勢

緩やかに持ち直している

(2期連続据え置き)

○有効求人倍率はこのところ低下しているものの、新規求人数は底堅く推移しており、雇用情勢は緩やかに持ち直している。

〔主なヒアリング結果〕

「労働局」

○有効求人倍率の低下は、求人提出時期のずれや、前年の大型求人の反動などによるものであり、人手不足の傾向は続いている。

○感染症の影響緩和や物価高などから、高齢者等の求職活動が活発になっている。

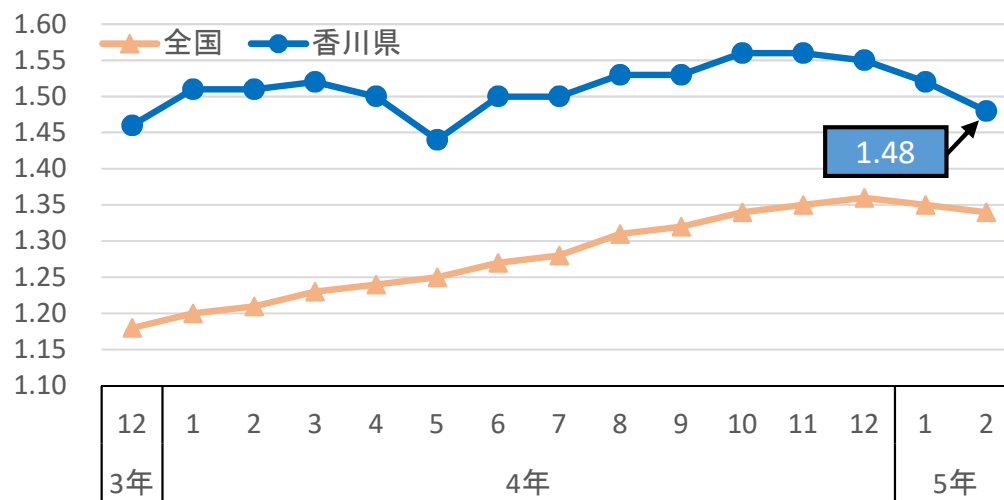
○旅行客の増加から、人手不足感が高まっている宿泊業で求人数が増加している。

「食料品製造業」

○原材料価格の高騰により厳しい状況が続いているものの、人員を確保するために今年度はベースアップを実施する予定である。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕

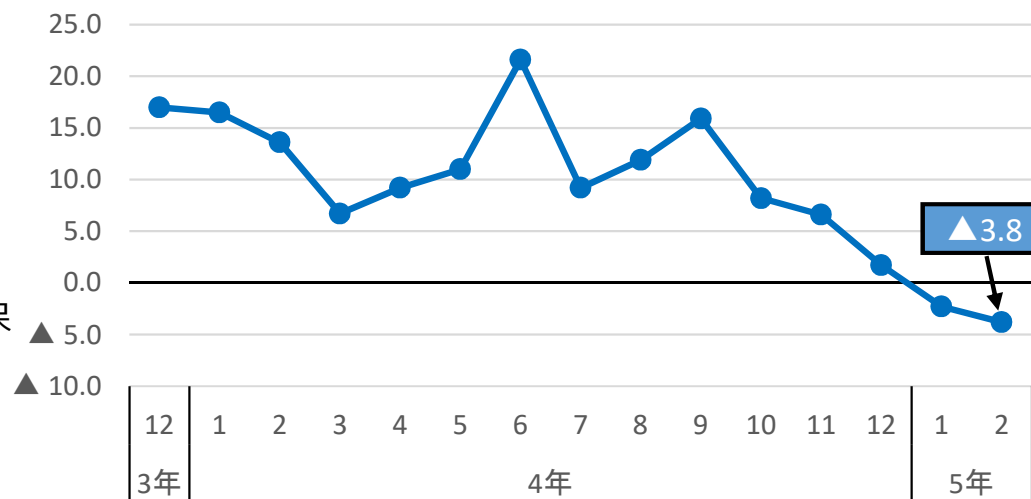
(倍)



【出所】厚生労働省

〔香川県の新規求人数（原数値、前年同月比）〕

(%)



【出所】厚生労働省の公表データから算出

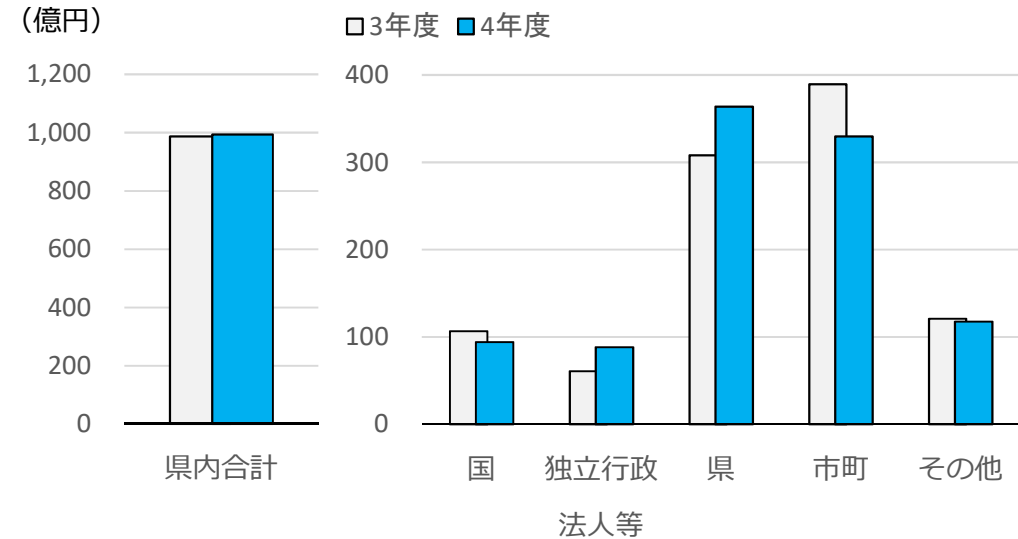
公共事業・住宅建設

公共事業

前年度並みとなっている

○前払金保証請負金額で見ると、国及び市町は前年度を下回っているものの、独立行政法人等及び県は前年度を上回っていることから、全体としては前年度並みとなっている。

〔香川県の公共工事前払金保証請負金額（3月累計額）〕



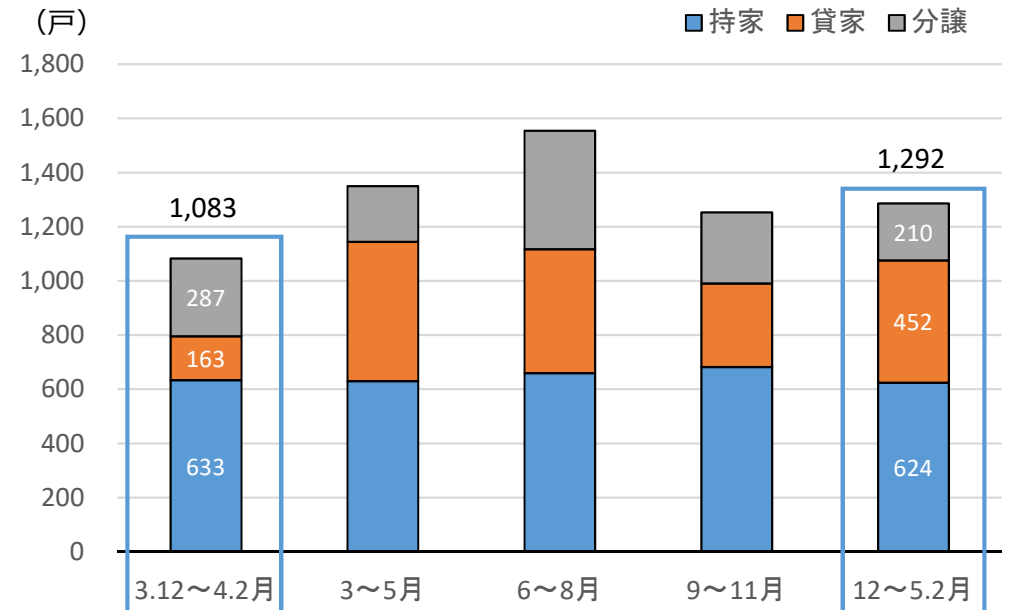
【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設

前年を上回っている

○新設住宅着工戸数で見ると、持家と分譲は前年を下回っているものの、貸家は前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。

〔香川県の新設住宅着工戸数〕



※合計は給与住宅を含む

【出所】国土交通省の公表データから算出

設備投資・（企業倒産）・（消費者物価）

設備投資

4年度は前年度を上回る見込み

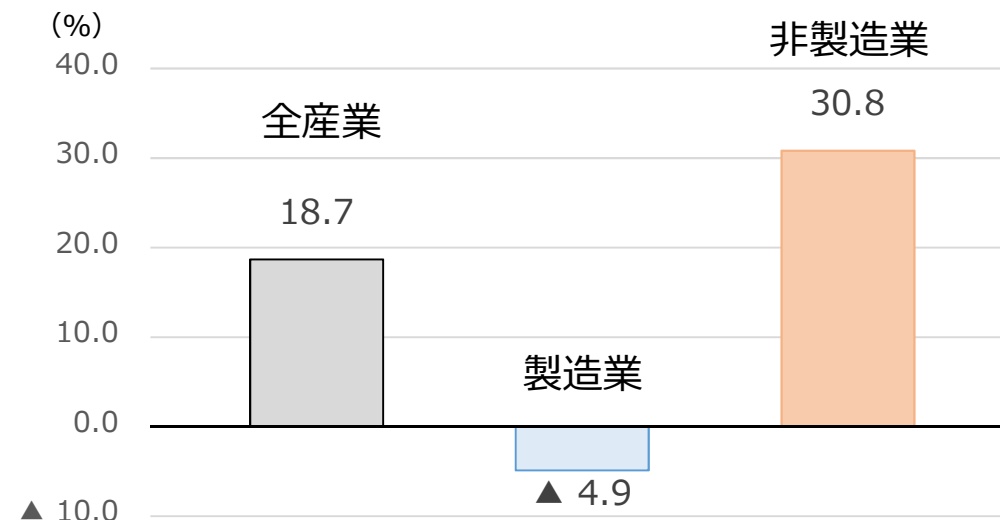
（企業倒産）

件数、負債総額ともに前年を上回っている

（消費者物価）

前年を上回っている

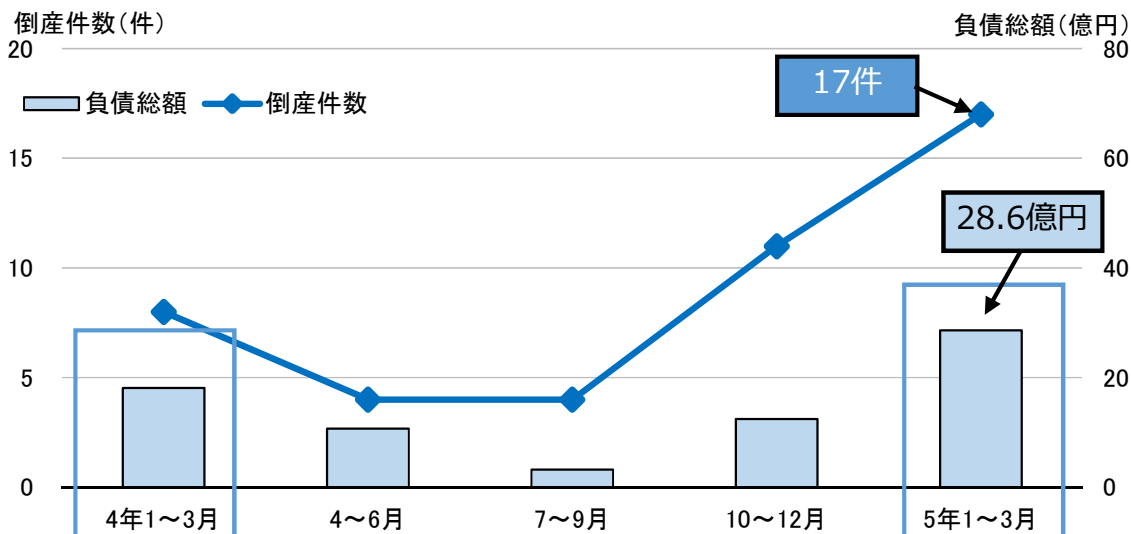
〔香川県の設備投資（前年度比）〕



※5年1～3月期調査の結果
※ソフトウェア含む、土地除く

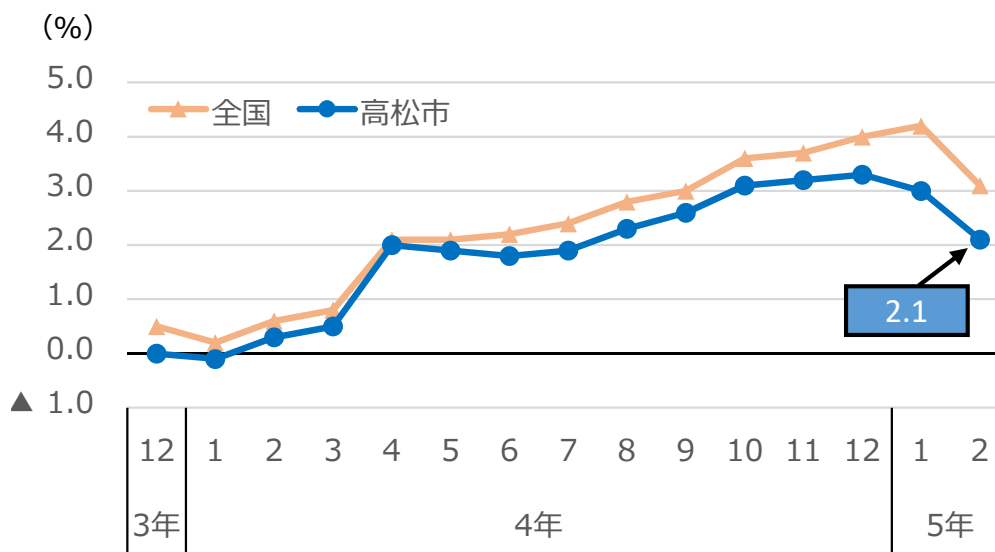
【出所】四国財務局（法人企業景気予測調査）

〔香川県の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕



【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）〕



(2020年=100) 【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは
電話番号 087-811-7780
財務広報相談室（内線260）又は 経済調査課（内線250）へ

ホームページアドレス <https://lfb.mof.go.jp/shikoku/>

